

第6章 計画の推進に向けて

◆第1節 計画の推進体制

◆第2節 数値目標の設定



■音楽アウトリーチの様子

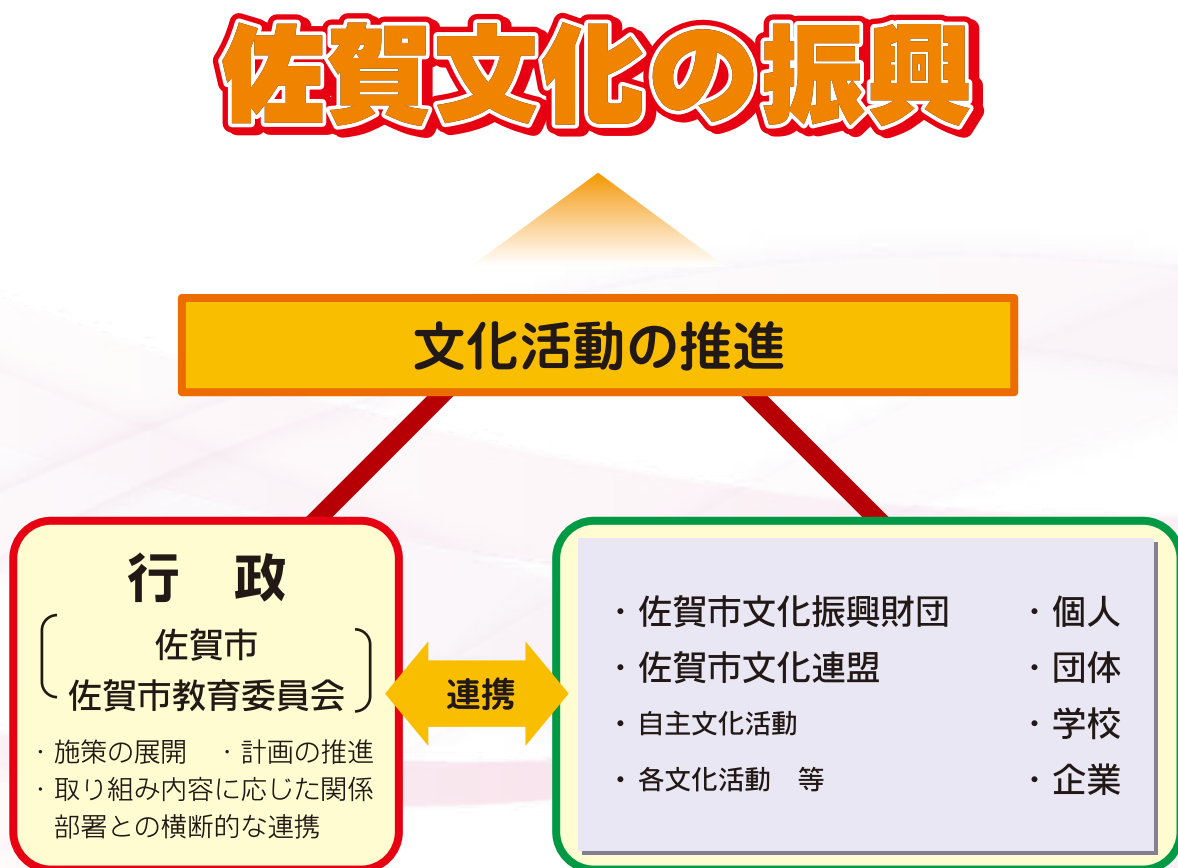
第1節 計画の推進体制

(1) 行政内部及び関係団体等との連携・協力

文化振興がまちづくりの一つの視点となる中、行政内部では、主務担当課を中心に庁内の関係部署との連携体制を築き、協力しながら本計画の推進を図ります。

また、佐賀市民の文化活動を促進し、さまざまな取り組みを実現する上では、関係団体や文化活動に取り組む企業、個人との連携・協力が重要です。関係団体の中でも、佐賀市文化振興財団とは、文化芸術の振興の面において、活動の場の提供、鑑賞機会の提供といった実務を担う団体として密に連携を図っていきます。

このように、行政、関係団体、企業、学校、市民がともに連携・協力しながら本計画を推進し、佐賀文化の振興に向けて取り組みます。



(2) 佐賀市文化振興基本計画推進懇話会

各団体代表や有識者、市民などで構成する推進懇話会を催し、本計画の進捗状況の点検や、方向性のチェックを行います。

また、計画の見直しなどが必要になる場合においては、推進懇話会に諮るものとします。

(3) 計画の評価

計画（Plan）⇒実行（Do）⇒点検（Check）⇒見直し（Action）といった計画管理のための PDCA サイクルを実行し、本計画の実現を図りながら、文化振興への効果を着実に上げ、佐賀文化の向上をめざします。このため、市民の視点も踏まえながら、行政が中心となって計画の進捗状況を把握するものとします。

また、定期的に市民の文化に対する意識や意見を聞くための調査などを行い、市民意識や文化芸術活動の現場で発生するさまざまな課題の把握に努めます。



第2節 数値目標の設定

(1) 市民の文化に対する意識の向上

本計画の推進のため、市民の文化に対する意識の向上度を測る数値目標を設定しています。数値目標については、本計画の上位計画である第4次佐賀市教育振興基本計画の成果指標と同一のものとし、その目標値（令和6年度）を掲載しています。

また、本計画における目標値（令和7年度）については、計画策定時点（令和2年度）において、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、収束の見通しが不明瞭であるため、令和6年度と令和7年度の数値目標を同じ割合にしています。

成果指標	基準値	現 在	目標値	本計画目標値
	平成30年度	令和元年度	令和6年度	令和7年度
市内で開催された歴史関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合	24.6%	14.9%	25.0%	25.0%
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合	41.5%	35.7%	50.0%	50.0%
市内の文化財は、適切に保存・活用されていると思う市民の割合	44.6%	47.8%	52.0%	52.0%
文化芸術に触れる機会が充実していると思う市民の割合	46.3%	45.6%	50.0%	50.0%

(2) 市民の文化的な行動に対する数値目標

佐賀市文化会館及び東与賀文化ホールは、佐賀市の文化活動の中心となる施設であることから、両施設の入場者数を市民の文化的な行動に対する数値目標として設定しています。

成果指標	基準値	本計画目標値
	令和元年度	令和7年度
佐賀市文化会館の入場者数	381,636人	400,000人
東与賀文化ホールの入場者数	56,468人	57,000人